



永楽寺
住職

河村 照道

10代から格闘技に興味を持ち、会社員として働きながらボクシングジムに通う。僧侶として活動を始めて以降も、プロキックボクサーとして試合に出場するなど活躍。29歳の時に師僧となる人物と出会い、仏門へ。修行を経て、2021年に永楽寺の住職となる。2025年5月には活動を追ったドキュメンタリー映画『結界の寺』が公開され、注目を集めている。後進育成のため、現在、新たな僧侶を受け入れている。

全国から寄せられる相談に誠実に向き合う 除霊や祈祷で心に安らぎを届けるお寺

除霊や浄霊、供養・祈祷の相談に応じる兵庫県神戸市の永楽寺。住職を務める河村照道氏は、全国を飛び回り、人々の不安や悩みに真摯に寄り添っている。活動を追った映画『結界の寺』も話題となった、同氏の歩みや思いに野球解説者の濱中治さんが迫るインタビュー。



濱中治 (野球解説者)

河村住職は全国各地を飛び回り、多くの人々の相談に応じていらっしゃいます。それだけ、不安や苦しみを抱える人が多いということでしょう。お話をうかがい、住職がそうした方々のために真摯に力を尽くしておられることを強く感じました。確かな覚悟と揺るがぬ精神力を持つ住職。これからも、多くの人々の支えとなってくださることを願っています。

ドキュメンタリー映画が公開され話題に

濱中 本日は2回目のご登場となる、永楽寺の河村照道住職にお話をうかがいます。まずは改めて、永楽寺さんの活動について教えてください。

河村 永楽寺では除霊を中心に、浄霊・供養・祈祷のご相談に対応しています。ありがたいことに、数年前にテレビ東京の番組へ出演したことをきっかけに、多くの方に永楽寺を知っていただけたんです。

濱中 観客の方々にとって、映画の中で行われていたことがリアルに体験できる、すごく貴重な機会だったでしょうね。普段は、どのようなご相談が多いのでしょうか？

濱中 映画にもなるほど注目を集めています。

のですね。反響はいかがでしたか？

河村 東京など遠方から訪ねてこられる方が増えました。除霊のご依頼だけでなく、「写真を撮りたい」「お話を聞きたい」という方もいらっしゃいます。映画の公開期間中は東京・名古屋・大阪などでトークイベントや舞台挨拶を行い、多くの方に永楽寺の活動を知っていただく機会になりました。

会場では、希望された方向けで除霊体験も実施させていただいたんです。

濱中 観客の方々にとって、映画の中で行われていたことがリアルに体験できる、すごく貴重な機会だったでしょうね。普段は、どのようなご相談が多いのでしょうか？

濱中 映画にもなるほど注目を集めています。

河村 体調や気分の不調、原因不明の違和感など、どこに相談すればよいかわからない悩みを抱えておられる方が多いです。最近では、20代の方が親御さんと一緒に訪ねてこられました。2~3年前から体調を崩し、「自分が自分でないような感覚がある」と話しておられたんです。親御さんも「以前と何かが違う」と感じておられ、会話の途中で突然笑い出など、落ち着かない様子も見られました。

濱中 その方は最終的にどうなられたのでしょうか、とても気になります。

河村 除霊を行い、しばらくお話しすると、急に笑い出すこともなくなり、落ち着かれたように見えました。

せんでしたが、3日目には少しづつ落ち着かれ、最後には穏やかな表情を見せてくださいました。

衝撃的な体験を契機に仏門へ

濱中 強い精神力がなければ続けられないお仕事ですよね。ところで、河村住職のご経験はとてもユニークだとうかがいました。ぜひ、お聞きしたいです。

河村 私は以前は会社員でした。ただ、若い頃から格闘技に興味があり、働きながらボクシングジムに通っていたんです。

河村 除霊を行い、しばらくお話しすると、急に笑い出すこともなくなり、落ち着かれたように見えました。

3日かけて取り組んだ札幌のケース

濱中 それは何よりです。ご本人もご家族も心から安心されたことでしょうね。他にもこれまでに、印象に残っているご相談はありますか？

河村 札幌に住むご家族からのご相談です。息子さんが突然叫び出してしまうというお悩みでした。初日は私に向かって「お前に何ができる」などと強い言葉を発されましたが、一方で「今のは僕ではないです」とおっしゃる瞬間もありました。ご家族も「あれは本人ではないと思う」と。初日はまったく変化が見られま

ちだけではどうにもできないと思ったので、翌朝とある住職へ連絡を取りました。濱中 衝撃的な体験ですね。その後、どうなったのでしょうか？

河村 住職にこの経緯を話すと、彼女に動物の靈がついていて、それが今回の件と関係しているのではないかということでした。住職のアドバイスに従って塩をまいたり、ご祈祷をお願いしたりしたところ、家の中の空気が穏やかになっていました。

濱中 なるほど。では、その体験が転機になったのですね。

河村 はい。そのときの住職が私の師僧です。永楽寺の住職となってからは、5000人を超える方々の相談に向き合ってきました。

濱中 きっと、格闘技で培った集中力と精神力が、いまの活動にも生かされているのでしょう。それに、多様な人生経験の中で養われた“覚悟”が、河村住職の存在感につながっていると感じます。それでは最後に、今後の展望についてもお聞かせください。

河村 今後はSNSでの発信を強化しようと考えています。XやTikTokなども活用し、困っている方の心の支えとなるよう活動を広げていけたら嬉しいですね。現在僧侶も募集していますので、私の活動に興味を持っていただいた方はぜひご連絡ください。



Company Data>>

永楽寺【僧侶募集中】

〒 651-1515
兵庫県神戸市北区上津台 6-16-26
URL <https://eirakuji.com/>